

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0038
施設名	杉の子学園保育所
施設所在地	東京都墨田区東向島2丁目13-6
法人名	社会福祉法人希望福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「すみだから」を使って、いろいろな素材に触れ、自由にのびのびと製作を楽しむ。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

・日頃から、廃材を使って物作りをしていたので、さらに様々な廃材を使って、子どもたちの活動の幅を広げてあげたいという思いがあり、墨田区の工場から出される「すみだから」を使って、思う存分楽しんでもらうため。

2. 活動スケジュール

10月～3月までに、月1回実施。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

十分な「すみだから」とその素材を置いて並べるスペースの確保。また、子どもたちが材料を選びやすいように並べ、活動に取り組めるように、テーブル、道具スタンドを配置した。

<材料>すみだから、のり、はさみ、ボンド、両面テープ、セロハンテープ、段ボールカッター

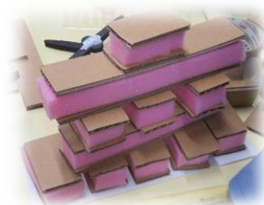
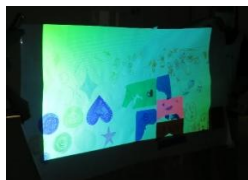
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

「すみだから」を使って、毎月のテーマを決める。
毎月、新たな「すみだから」を用意してもらい、自由に素材を選び、子どもたちの自由な発想のもと、製作を楽しんだ。ボンドを取り入れて、素材同士がくっつくのを楽しむと同時に、すぐにはくっつかない不思議を体験した。また、「大きな転写シート」に自由に絵を描き、プロジェクターで映し出し、色のコントラストを楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
継続することで、子どもたちが、同じものを同じ素材を使って楽しむ子もいれば、新たな素材を使って、新たなものを作り出す姿もあった。保育士も、子どもたちの様子を見ながら、一緒に製作を楽しんだり、見守った。また、工場へ実際に見学に行ったり、屏風屋さんで体験として屏風を、作らせてもらったり、職人さんの手さばきを見させてもらったりと貴重な体験をさせてもらった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

それぞれの子どもたちが、用意された素材に向き合う姿は、個性が出ていた。この素材を使って、こんな風に作り上げていくんだなという、子どもたちの個性あふれる芸術センスがそろそろ光っていた。また、テーマを決めて、作り出す子もいれば、自由に作りだし、その中から形にしていくという製作を楽しむ子もいて、それぞれだった。こんなにも墨田区に「すみだから」があるなんて、園としても新発見。その素材に触れて製作を楽しめて、子どもたちも毎回大満足でした。